

■ 研究課題名

1 セレウス菌による集団事例の疫学解析に関する研究

■ 研究の概要

セレウス菌は、塵埃、河川、土壌等あらゆる自然環境に存在し、穀類、香辛料、野菜類、豆類をはじめとした多くの食品に分類している。そのうち、セレウリドを賛成するセレウス菌は食中毒起因菌であり、しばしば集団事例の原因となる。しかしながら、グラム陽性芽胞菌は遺伝子の抽出効率が悪いこと、事例由来株数の確保が困難なことからセレウス菌の分子疫学解析が十分に行われてこなかった。そこで、今回、保存菌株も含めてセレウス菌の各種疫学解析を行うことによって、食中毒事例等の集団事例の原因究明に活用していくことを目的とする。

■ 研究期間

平成 31 年度から令和 2 年度まで

■ 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 吉田 道彦

■ 研究責任者の氏名

微生物部食品微生物研究科  
門間 千枝

■ オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。